

今後の村松地区周辺地域活性化のイメージ (第17回の会議を受けて一部修正)

計画策定期

東海村村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会
(H28.9～R1.10の約3年間で17回の委員会を開催)

『東海村村松地区周辺地域活性化計画』の策定 (R01.10)

【エリア】

大神宮・虚空蔵堂エリア・阿漕ヶ浦公園エリア・細浦青畝エリア・幼保跡地エリア

【コンセプト】

▽行ってみたい, 住んでみたい, 働いてみたい“大空の郷”村松地区
▽温故知新『自然』『歴史』『科学』を体験できる・楽しめる・つながる村松地区

【将来デザイン】

地域のみなさんが思い描く将来像をエリアごとにパース図で取りまとめたもの

「エリア」「コンセプト」「将来デザイン」をベースとして
各主体の自主的な取り組みの展開と
組織間の「連携」「協働」「共創」が重要となる

- ステップ1
策定委員会は当初の目的を達成したため, 発展的解消する
- ステップ2
地域のための, 楽しくやりがいのある活動を継続するために, 賛同する仲間を募る
- ステップ3
策定した計画をベースに, それぞれの強みを生かした協力体制の構築

計画実行期

【その他の取り組み】

- 幼保跡地の駐車場整備
⇒地域の要望を踏まえ, 駐車場と多目的広場として再整備
(H30:実施設計, R01:整備工事)
- 新たな取り組みを委員会及び地域とともに実践
「正月マルシェ」(H31.1)
初詣客に対し地域とともにイベントを実践
「地域活性化のための交流会」(R1.9)
阿漕ヶ浦クラブ跡地(JAEA所有)を借用し, 地域住民とともに刈り払い, 交流会を実施。
また大神宮の協力を得て, 阿漕ヶ浦をカヌーで巡る。

<今後の活動イメージ>

